

# XR空間共有 / リモートコミュニケーションプラットフォーム

多種多様なXRデバイスでチーム共有が可能！



複数の端末・異なる種類のXRデバイス間で同じコンテンツを共有でき、同じ会議室で議論をしているかのような体験ができます。



## 特徴1 チーム共有

- コンテンツ(3Dモデル、動画、ドキュメントなど)を複数人で共有可能
- インターネットを通じて遠隔地間でも利用可能

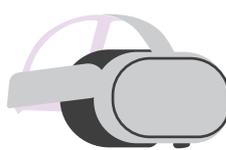


©JAXA



## 特徴2 マルチデバイス

- 多種多様なXRデバイスに対応



## 本プラットフォームの利用イメージ

### 拠点1



### 拠点2



### 本部(現地)



### 拠点3



## JAXAとの共同研究成果

MR技術を用いて、次世代の航空機・宇宙機開発におけるシミュレーション結果の可視化を進めるとともに、次世代の可視化技術の適用可能性を検証するための共同研究を進めています。

本研究成果により、XRデバイスを利用することで、同じ空間で情報を共有し、実物や模型と3Dデジタルデータを重ねて比較・検証することができます。

このコンパウンド・ヘリコプタはJAXAで研究されている将来型回転翼機システム技術により概念設計された新型の機種です。

rFlow3Dという回転翼向けの流体・構造連成のCFD解析コードを開発し、数値解析を行っています。



©JAXA



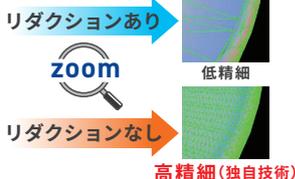
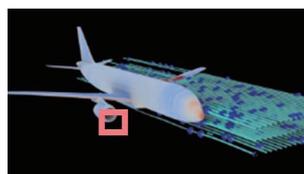
©JAXA

# リアルタイム技術 × MR で 業務改革

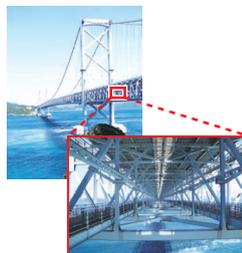
ロボット制御・コンピュータービジョンなど当社のリアルタイム技術と連携し、そのセンシングデータをMRデバイス上に投影することで、皆様の業務改革に繋がります。

## JAXAとの共同研究：大規模データ可視化

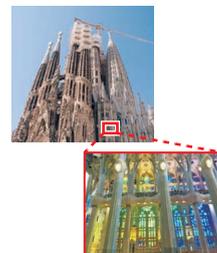
3Dデータをリダクションせず高精度にモデルを投影する基礎技術を開発しました。



### 交通インフラ保全



### 建築デザイン



## 開発事例：MR閲覧・共有作業マニュアル

作業者がMR(複合現実)を通して作業マニュアルを確認できます。

また、熟練者をはじめとした利用者がマニュアルの内容を更新、改善させることで作業全体の効率化につながります。



### 工場の保守点検作業



### 車両整備作業・研修



## 開発事例：建設設計業務向けアプリケーション

MR(複合現実)を活用して建築設計業務における業務効率化・視認性向上を目的としたアプリケーションを開発しました。

### 建築設計



設計(3D)データ伝送

フィードバック

### MR上での設計検証レビュー



## 会社概要

設立	1970年5月	資本金	4億7,730万円
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場	従業員数	383名(2025年4月1日現在)
事業内容	社会公共分野・先端分野のリアルタイムソフトウェア及びソリューションの提供		

## 事業分野



### 社会基盤システム 1970年～

高度交通システム、防衛、医療、環境エネルギー、官公庁向けシステムなど社会公共性の高い分野のシステムを開発



### 宇宙先端システム 1970年～

科学衛星や惑星探査機の搭載システムなど宇宙天文分野、ロボットやAIなど先端分野のソフトウェアを開発



### モバイルネットワーク 1984年～

キャッシュレス決済端末などモバイルデバイスを使ったサービスシステム、スマートコンストラクション、XRなど次世代技術を使ったエッジデバイスのソフトウェアを開発



### インターネット 1995年～

非接触IC搭載ソフトウェア、IoT関連システム、民間企業向けのクラウドシステムなどを開発